

市の近況をピックアップして市民の皆さんにお伝えします。

🍌 オリンピックデー・フェスタ in 福島市が開催されました

11月4日(日)、福島市体育館・武道場(NCVふくしまアリーナ)に、本市出身の山下航平さん(陸上競技)をはじめ、中村真衣さん(水泳/競泳)、大山加奈さん(バレーボール)、三宮恵利子さん(スピードスケート)、橋典人さん(ウエイトリフティング)、高木樹里さん(ソフトボール)、大島公一さん(野球)ら7人のオリンピックが集まり、市内の小学生約120人と触れ合いました。

手つなぎ鬼や合唱などで小学生らと交流した山下さんは「地元でこういう形で戻って来られてとてもうれしい。東京オリンピックに向けてがんばる姿を子どもたちに見てほしい」と話しました。

イベントの最後に憧れのオリンピックからサインをもらった小学生は、満面の笑みで会場を後にしました。参加者の中からのオリンピック誕生に期待が高まりますね！

■問/東京オリンピック・パラリンピック
競技大会福島市推進室 ☎563-5660



▲7人のオリンピックと参加小学生での記念撮影



▲子どもたちと触れ合う
山下航平さん



▲参加者と一緒に喜び合う
大山加奈さん

🍌 「おとう飯」をInstagramに投稿しよう！



「おとう飯」とは簡単で手間をかけなくてもおいしい料理のことで、男性が料理を始める第一歩とする、内閣府の取り組みの1つです。男性が料理を始めることを通して、家事・育児などへの参画を応援したい。そんな思いでInstagramのハッシュタグを作りました。おとう飯の写真を投稿して、みんなに広めよう！

投稿しよう！

- 市男女共同参画センターのアカウントをフォロー
アカウント/ @fukushima_city_otouhan
- 男性が調理した料理の写真を投稿する際に、ハッシュタグ「#fukuhan18」「#fukuhan」を付けて投稿
- 素敵な写真は、刊行物などで紹介
※投稿のルールなど詳しくは市ホームページをご覧ください。

■問/男女共同参画センター
☎525-3784

福島市 おとう飯

検索



▲市長が調理したおとう飯「豚しゃぶの納豆ドレッシングラジウム卵のせ」など

🍌 「東北絆まつり2019福島」開催決定！



▲東北六魂祭2013福島でのパレード



▲11月2日の記者会見。左から福島商工会議所の渡邊博美会頭、市長、福島わらじまつり実行委員会の小河日出男委員長

東日本大震災の年に、震災犠牲者の鎮魂と東北の復興・連携を内外に発信するため始まった「東北六魂祭」。平成28年の青森開催で東北六県を一巡後「東北絆まつり」として継承されてから3回目の平成31年、いよいよ本市を会場に開催されます！

5月中旬から6月中旬の土・日曜日で2日間開催。詳細は平成31年1月公表予定です。東北の熱気あふれる祭りを一度に楽しめる「東北絆まつり2019福島」

にご期待ください。

今後、市、福島商工会議所、福島わらじまつり実行委員会が一体となり万全の体制で準備を進めます。祭り当日は会場周辺を中心に大規模な交通規制が想定されます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

■問/観光コンベンション推進室
☎572-5718

🍌 ふくしま元気トーク、続々開催中！次回参加者募集中です



▲福島学院大学の大学祭会場で開催した第2回



▲若手農業者と意見を交わした第3回

定しています。「開かれた市政」の実現に向け、今後も市民の皆さんと意見交換を行っていきます。

■問/市民協働課 ☎563-7488

第4回の参加者を募集します

- と き/平成31年2月2日(土)
午前10時～11時30分
- と ころ/保健福祉センター
- 内 容/「子育てしやすい環境について」をテーマに市長と意見交換
- 対 象/市内の中学3年生以下の子を持つ保護者
- 定 員/10人程度
- 応募方法/詳しくは市民協働課までお問い合わせいただくか市ホームページをご覧ください。
- 募集締め切り/12月17日(月)必着



今年度新たに始まった市民の皆さんと市長が直接意見交換を行う「ふくしま元気トーク」は、5月12日の第1回を皮切りに、回を重ねています。

10月14日の第2回は福島学院大学の「のぎく祭」に合わせて開催し、「わたしたちがつくる県都ふくしま～10年後の福島市を考える～」をテーマに、市内の大学生9人が参加。若さあふれる意見がたくさん出ました。11月8日の第3回は「若手農家の挑戦～現状と今後の抱負～」をテーマに、市内の若手農業者11人と意見交換を行い、本市の基幹産業の1つである農業について率直な意見が交わされました。ふくしま元気トークは、今年度全5回の開催を予

